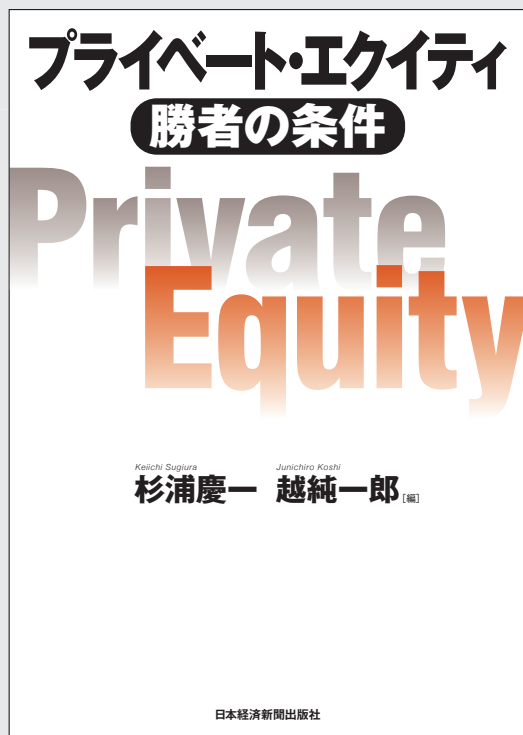


# プライベート・エクイティ ～勝者の条件～



仕様: A5 判 290 頁  
定価: 3,150 円 (本体 3,000 円)  
発売日: 2010 年 5 月 18 日  
出版社: 日本経済新聞出版社

## 【編者・執筆者】

杉浦慶一 (株式会社日本バイアウト研究所)  
越純一郎 (株式会社せおん)

## 【執筆者】

深沢英昭 (東京海上キャピタル株式会社)  
水島正 (大和クオンタム・キャピタル株式会社)  
福本太郎 (MBK パートナーズ株式会社)  
笹山幸嗣 (株式会社メザニン)  
小林和成 (エー・アイ・キャピタル株式会社)  
北村元哉 (マッコリー・グループ)  
片尾英和 (マネックス・ハンブレクト株式会社)  
佐藤信雄 (ハーバード・ビジネス・スクール)  
安藤秀昭 (株式会社デルタウィン CFO パートナーズ)  
佐山展生 (インテグラル株式会社)

## 本書の特徴

本書は、次の3点を明らかにすることを通じて、日本のプライベート・エクイティ (PE) の現状と課題、そして、将来展望を描き出すことを目的として編集されている。

- (A) 日本の PE 実務が、どの程度まで進化しているのか。それは、どういった歴史の中で培われたのか。
- (B) 海外 (欧米、アジア) の市場動向・実務動向から日本が学ぶべき点や、意識しておくべき点は何か。
- (C) 今後 (概ね5年間を想定) の日本の PE 実務の進むべき方向性、乗り越えるべき課題は何か。

さらに、全体を俯瞰する座談会を加えている。

### 座談会

日本のプライベート・エクイティ市場の回顧と展望 ～欧米を意識しつつ語る、成長と停滞との間～

- 討論者 笹沼泰助氏 (アドバンテッジパートナーズ LLP 共同代表パートナー)  
          蓑田秀策氏 (株式会社 KKR ジャパン 代表取締役社長)  
          大畑康寿氏 (みずほキャピタルパートナーズ株式会社 代表取締役社長)  
司会者 知野雅彦氏 (株式会社 KPMG FAS 代表取締役パートナー)

# 目次

## 序章 日本のバイアウト市場の10年の軌跡

(執筆者: 株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一)

### 第I部 日本のプライベート・エクイティの到達点

#### 第1章 MBOの拡大の背景とバイアウト・ファンド活用の是非

(執筆者: 東京海上キャピタル株式会社 取締役社長 深沢英昭)

#### 第2章 ファンドの仕組みとファンドレイジング

(執筆者: 大和クオンタム・キャピタル株式会社 代表取締役社長 水島正)

#### 第3章 企業価値向上の鍵 ～プライベート・エクイティの役割と実務の現状と課題～

(執筆者: MBK パートナーズ株式会社 バイスプレジデント 福本太郎)

#### 第4章 日本のレバレッジド・ファイナンスの特徴

(執筆者: 株式会社メザニン 代表取締役 笹山幸嗣)

### 第II部 海外のプレーヤーと市場から学ぶ

#### 第5章 欧米のプライベート・エクイティ ～バイアウト・バブルを越えて～

(執筆者: エー・アイ・キャピタル株式会社 代表取締役社長 小林和成)

#### 第6章 アジア太平洋地域のプライベート・エクイティ

(執筆者: マッコリー・グループ アソシエイト・ダイレクター 北村元哉)

#### 第7章 海外のプライベート・エクイティの競争レバレッジ

(執筆者: マネックス・ハンブレクト株式会社 取締役パートナー 片尾英和)

### 第III部 日本のプライベート・エクイティの課題と提言

#### 第8章 日本のプライベート・エクイティの人材マーケット

(執筆者: ハーバード・ビジネス・スクール 日本リサーチ・センター長 佐藤信雄)

#### 第9章 今こそ、日本企業に求められる「プロフェッショナル CFO」

(執筆者: 株式会社デルタウィン CFO パートナーズ 代表取締役社長 安藤秀昭)

#### 第10章 経営者人材の育成と経営者市場形成の根本問題

(執筆者: インテグラル株式会社 代表取締役パートナー 佐山展生)

### 座談会

#### テーマ 日本のプライベート・エクイティ市場の回顧と展望 ～欧米を意識しつつ語る、成長と停滞との間～

(討論者: アドバンテッジパートナーズ LLP 共同代表パートナー 笹沼泰助氏)

(討論者: 株式会社KKR ジャパン 代表取締役社長 蓑田秀策氏)

(討論者: みずほキャピタルパートナーズ株式会社 代表取締役社長 大畑康寿氏)

(司会者: 株式会社KPMG FAS 代表取締役パートナー 知野雅彦氏)

## 終章 未来編への序説

(執筆者: 株式会社せおん 代表取締役 越純一郎)